

# 公益認定並びに創立30年の感謝

公益財団法人 アルカディア音楽芸術財団・理事長  
音楽プロデューサー、フルート奏者

中村 八千代

公益財団法人アルカディア音楽芸術財団は、1980年に前身団体を設立して以来、国内外で幅広く演奏活動を継続し、2010年創立30年を迎えました。

さらに2010年6月には、内閣府より公益財団法人の認定を得られ、ここに公益財団法人アルカディア音楽芸術財団として新たに出發しました。

当公益財団は、質の高い音楽の普及振興及び音楽を通じた国際文化交流を行うことにより、我が国の音楽芸術及び文化の向上発展に寄与することを目的として認定されました。

これまで兵庫より認可を受けていましたので、兵庫県を中心として活動してきましたが、今後は内閣府という国の所管となり兵庫県を拠点として日本全国各地に活動範囲を広げる事となり、海外を含

めた国内外で今まで以上に積極的に活動していくこととなりました。

財団の活動を3つの柱としています。1点目は音楽振興、2点目は音楽を通じた福祉活動、3点目は音楽を通じた国際文化交流です。

1点目の音楽振興として、クラシック音楽の普及振興を推進しています。

地方公共団体からの公演依頼に加えて、小・中・高等学校や病院、老人ホーム等コンサート会場に限らず、また聴衆の人数にかかわらず少人数のお客様でも依頼があれば遠方でも引き受けて演奏に伺っています。

クラシック音楽を身近に感じて頂きたい。演奏する事で元気や喜びをお与えることが出来たら、それが私達の喜びだからです。

2点目の音楽を通じた福祉活動として、17年前から視覚障害者の方々が、盲導犬同伴で生の音楽を楽しんで頂けるようにコンサートにご招待して、点字のプログラムや拡大コピーのプログラムも作成し配布しています。盲導



華麗なるウィーンの香り(第16回アルカディア定期演奏会)

アグネス・グロスマン(指揮)、寺本郁子(ソプラノ)に、アルカディア室内管弦楽団、アルカディア室内合唱団&アルカディア・グローバル合唱団の共演。

—いずみホールにて—

1997. 10. 3



寺本郁子ソプラノ・リサイタル in バチカン  
—バチカン日本大使公邸にて—

2007. 7. 24



アルカディア・コンサート in Hyogo  
 寺本郁子、黒岩英臣(指揮)、アルカディア室内管弦楽団  
 -兵庫県立芸術文化センター・小ホールにて- 2006. 2. 2



第19回アルカディア定期演奏会  
 チェコの名ヴァイオリニスト ヴァツラフ・フデチェックと中村八千代  
 -いづみホールにて- 2000. 11. 26

犬同伴の視覚障害者の方々をコンサート会場へご招待することは、クラシック音楽の世界では、私達が最初に始めた事業でした。さらに14年前からは、『盲導犬とともに音楽を愛でる会』という名前のコンサートを開催し、収益金の一部を盲導犬育成のために寄附しています。

3点目の音楽を通じての国際文化交流として、海外から一流のアーティストを招いて財団のメンバーとの共演により、世界一流の上質の音楽を団員と聴衆が肌で実感出来るようなコンサートも行っています。また海外では、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、オーストラリア、中米の各地に外務省や音楽祭から招かれて、これまでに16回の海外公演を実施し、アフリカを除く

世界の大陸で公演しました。

近年ではグアテマラやバングラデシュのような貧困と内戦と開発途上の国々でも公演する機会を得ました。外務省や各国大使館からの依頼を受け、個人ではめったに行き事出来ない国々で演奏させて頂き、音楽の持つ素晴らしい力によって両国間の友好や交流を深める事が出来ました。

平和な毎日をおくる事が出来る日本の生活に感謝して、音楽の力で平和と勇気と希望をもたらすことが出来たらと、心からの祈りをこめて演奏を捧げています。

アルカディアとは、古代ギリシャの山間にあったという理想郷・ユートピアの事です。そこでは、人々が音楽や芸術を愛して平和に暮らしていたそうです。創立当初から平和な社会の理想郷の音楽をめざしてこの名前を付けました。

障害や国籍にかかわらず、音楽は人の心に大きな喜びを与えます。

一人でも多くの方に喜びと感動と勇気を実感して頂けるよう、今後も地域や人々を大切にして演奏活動を続けていきたいと思っております。

30年前からの一貫した信念で、魂に響く愛に溢れた至福の音楽を届けられるよう常にたゆまぬ努力で心と技を磨き、これからも地道に一步ずつ積み重ねていきたいと情熱を燃やしています。

今後共これまで同様に温かいご支援ご協力を賜わりますよう、何卒宜しく願い申し上げます。



フルート・中村八千代